



2026年10月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年6月12日

上場会社名 フィットイージー株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 212A URL <https://fiteasy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國江 仙嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 藤原 祐次 TEL 058 (215) 8744
 半期報告書提出予定日 2026年6月12日 配当支払開始予定日 2026年7月6日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年10月期第2四半期（中間期）の業績（2025年11月1日～2026年4月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期中間期	6,705	58.2	1,607	48.2	1,625	49.6	1,105	52.9
2025年10月期中間期	4,239	36.3	1,084	20.6	1,086	21.7	723	22.9

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期中間期	66.63	65.06
2025年10月期中間期	45.59	44.19

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年10月期中間期	10,768	6,575	61.1
2025年10月期	10,063	5,880	58.4

(参考) 自己資本 2026年10月期中間期 6,575百万円 2025年10月期 5,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2026年10月期	—	26.00	—	—	—
2026年10月期（予想）	—	—	—	25.00	51.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 2026年10月期第2四半期末配当金（予想）の内訳：普通配当20円、記念配当6円（東証プライム、名証プレミア 市場変更記念配当）

3. 2026年10月期の業績予想（2025年11月1日～2026年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,322	47.2	3,506	51.7	3,558	53.5	2,473	61.8	148.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料の6ページ「中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年10月期中間期	16,694,240株	2025年10月期	16,520,250株
2026年10月期中間期	一株	2025年10月期	一株
2026年10月期中間期	16,594,268株	2025年10月期中間期	15,861,099株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより個人消費の持ち直しの動きが見られる一方で、政治情勢の変動によるエネルギー等の原材料価格の高騰、消費者物価の上昇による消費の減速懸念、世界的な物価上昇や金利引き上げ等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、フィットネスクラブ業界においては、消費者のマインドは「単なる支出」から、自身の健康や将来の充実に向けた「価値ある投資」へと変化しており、市場が求めるものは単なるトレーニングの場を超え、より本質的で質の高いウェルネス体験へとシフトしております。

当社は、企業理念である、MISSION「新たなウェルネス文化の創造で世界を変えていく」を掲げ、VISION「FIT YOUR STYLE アミューズメントフィットネスクラブとAIヘルスケアオートメーションにより楽しみながら健康になれる、唯一無二のウェルネス体験を提供し、世界一のウェルネスチェーンを目指します。」を達成すべく、運動を続けることの重要性及び人々の新たな生活基準に沿った生活スタイルを提案するために、フィットネスマシンのみならず27種類の多彩なアミューズメントサービス(スタジオ、高濃度酸素ルーム、ゴルフ、ラウンジ、サウナ、セルフエステ等)を取り入れたアミューズメントフィットネスクラブ(商標登録第6724824号)「フィットイージー」を日本全国に事業展開し、サードプレイス(自宅でもない職場でもない第3の場所)となる店舗運営によって、他社とは異なる差別化により、フィットネスクラブ業界においてシェア獲得に繋がっているものと考えております。

また、当社ではAIヘルスケアオートメーション(特許出願中)の仕組み(※)による「健康の自動化」と「なりたい自分」を叶えるためのフィットイージーアプリを提供しております。当アプリを通じて、運動・食事・睡眠の観点から会員様一人ひとりに最適化された健康管理を提供し、「なりたい自分」の実現がより身近なものになるように、今後も継続的にサービスを拡充し、新たなライフスタイルの提案、トレーニングの継続性や顧客満足度の向上へ繋げてまいります。

※「なりたい自分」を叶えるための、知→導→整→活→評のサイクル

知：自分を知る

(AI顔認証体組成計でカラダの状態をチェック、未来のカラダは今日の記録から)

導：AIによるトレーニングメニュー生成

(目標や計測データに合わせ、AIが最適なプランを提案)

整：準備を整える

(コンディションを整え、運動効果を最大化する)

活：生活に活かす

(AIが提案したプランを実践)

トレーニングはもちろん、食事や睡眠の質も高め、ライフスタイルそのものをアクティブに)

評：ふりかえりで、成果を確かめる

(アプリで活動記録をふりかえり、今の行動を未来の目標へつなげる)

このような経営環境の中、当社は2026年1月に250店舗達成後も新規出店を続け、効果的なキャンペーンの実施や会員満足度の向上への取り組みを強化した結果、店舗当たり会員数が堅調に推移したことにより、2026年4月末時点の店舗数及び会員数は以下のとおりとなりました。

■フィットイージー店舗数及び会員数(直営店・FC店 合計)

店舗数 275店舗

会員数 261,527人

以上の結果、当中間会計期間における売上高は6,705百万円(前年同期比58.2%増)、営業利益は1,607百万円(同48.2%増)、経常利益は1,625百万円(同49.6%増)、中間純利益は1,105百万円(同52.9%増)となりました。

なお、当社はフィットネスクラブ運営事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間会計期間末における総資産合計は10,768百万円となり、前事業年度末に比べ704百万円増加いたしました。これは主に、差入保証金が333百万円、その他(投資その他の資産)が407百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は4,192百万円となり、前事業年度末に比べ9百万円増加いたしました。これは主に、預り保証金が326百万円増加した一方、その他(流動負債)が244百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は6,575百万円となり、前事業年度末に比べ695百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が中間純利益により1,105百万円増加した一方、配当により413百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

直近の業績動向を踏まえ、通期の業績予想及び期末配当予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2026年6月12日)公表いたしました「業績予想の修正(上方修正)及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年10月31日)	当中間会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,274,133	3,054,596
売掛金	1,896,568	1,973,651
商品	222,253	244,041
その他	630,582	802,038
貸倒引当金	△2,037	△4,277
流動資産合計	6,021,501	6,070,049
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,179,668	1,155,519
その他(純額)	757,282	648,310
有形固定資産合計	1,936,950	1,803,829
無形固定資産	155,681	204,120
投資その他の資産		
差入保証金	1,429,651	1,762,748
その他	519,833	927,750
投資その他の資産合計	1,949,485	2,690,499
固定資産合計	4,042,117	4,698,449
資産合計	10,063,618	10,768,499
負債の部		
流動負債		
買掛金	958,917	944,843
1年内償還予定の社債	115,000	115,000
1年内返済予定の長期借入金	74,075	68,229
未払法人税等	625,200	553,426
契約負債	341,054	448,185
賞与引当金	39,644	40,873
その他	718,607	474,385
流動負債合計	2,872,499	2,644,943
固定負債		
社債	155,000	97,500
長期借入金	83,094	50,846
資産除去債務	127,095	124,002
預り保証金	863,418	1,189,455
その他	82,249	86,093
固定負債合計	1,310,857	1,547,896
負債合計	4,183,356	4,192,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,356,005	1,357,449
資本剰余金	1,306,005	1,307,348
利益剰余金	3,218,251	3,910,862
株主資本合計	5,880,261	6,575,659
純資産合計	5,880,261	6,575,659
負債純資産合計	10,063,618	10,768,499

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)	当中間会計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年4月30日)
売上高	4,239,567	6,705,601
売上原価	2,705,195	4,311,257
売上総利益	1,534,372	2,394,343
販売費及び一般管理費	449,838	786,948
営業利益	1,084,533	1,607,394
営業外収益		
受取利息	2,605	10,587
受取手数料	3,852	6,635
その他	308	4,205
営業外収益合計	6,767	21,428
営業外費用		
支払利息	3,307	2,542
支払保証料	1,416	1,108
その他	59	59
営業外費用合計	4,782	3,710
経常利益	1,086,518	1,625,112
税引前中間純利益	1,086,518	1,625,112
法人税等	363,484	519,496
中間純利益	723,034	1,105,616

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)	当中間会計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	1,086,518	1,625,112
減価償却費	82,710	138,060
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△132	2,240
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,162	1,228
受取利息及び受取配当金	△2,605	△10,587
支払利息	3,307	2,542
売上債権の増減額(△は増加)	△429,067	△77,083
棚卸資産の増減額(△は増加)	179,163	△21,787
仕入債務の増減額(△は減少)	110,197	△16,289
契約負債の増減額(△は減少)	△80,651	107,130
固定資産から棚卸資産への振替	—	169,604
その他	△49,332	△191,546
小計	902,269	1,728,624
利息及び配当金の受取額	2,605	10,587
利息の支払額	△3,131	△2,518
法人税等の支払額	△299,906	△625,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	601,837	1,111,493
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△148,595	△405,399
無形固定資産の取得による支出	△60,987	△65,571
貸付金の回収による収入	7,788	6,756
長期前払費用の取得による支出	△5,431	△23,456
差入保証金の差入による支出	△329,967	△336,646
差入保証金の回収による収入	—	4,500
その他	—	3,406
投資活動によるキャッシュ・フロー	△537,194	△816,409
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	1,055	2,787
長期借入金の返済による支出	△63,090	△38,094
社債の償還による支出	△57,500	△57,500
リース債務の返済による支出	△27,451	△8,808
配当金の支払額	△316,557	△413,006
財務活動によるキャッシュ・フロー	△463,543	△514,620
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△398,900	△219,537
現金及び現金同等物の期首残高	2,500,684	3,274,133
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,101,784	3,054,596

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、フィットネスクラブ運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。